

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(24年10月分)

1. 調査実施期間 平成24年 9月20日 ～10月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

10月分の回答企業数は32社、回収率は84.2%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		24/10月	24/11月	24/12月
仕入動向	国産材	-6.3	-8.3	-10.4
	外材	3.2	-9.7	-14.5
販売動向	国産材	-6.3	-4.2	-14.6
	外材	0.0	-4.8	-12.9
在庫動向	国産材	-6.5	-6.5	-10.9
	外材	-4.8	-12.9	-14.5

仕入れは、先行き不透明感もあり国産材はマイナス基調で推移、外材は10月の小さなプラスから年末に向けマイナスに。
販売は、国産材はマイナス基調で推移、外材は10月のゼロから年末に向けマイナスに。
在庫は、先行き不透明で、国産材はマイナス基調で推移、外材は10月の小さなマイナスから年末に向けやや大きなマイナスに。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	24/10月	24/11月	24/12月
スギ正角(グリーン)	-3.3	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-2.9	2.9	-3.1
ホワイトウッド集成管柱	-2.8	11.1	5.6
レッドウッド集成平角	0.0	10.0	-3.3
型枠合板(輸入)	16.7	6.7	7.1
針葉樹構造用合板	-3.3	0.0	3.6
針葉樹構造用合板(厚物)	3.6	3.6	-3.8

スギ正角(グリーン)は10月は小さなマイナスだが、スギ正角(KD)、ヒノキ正角、ヒノキ土台と同様、年末に向け横ばいで推移。
米ツガ正角、防腐土台角及び割物並びに米マツ平角とも年末に向け横ばい推移。
北洋アカマツタルキは10月やや弱くプラスを経て年末やや弱保合。
WW集成管柱は10月にやや弱保合の後、年末に向けやや強保合に、RW集成平角は10月保合、11月やや強含んだ後、年末やや弱保合に。
合板は、輸入合板はやや強含みで推移、構造用合板はやや弱保合から年末に向けやや強保合に、構造用(厚物)は、10月のやや強保合

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太では米国9月積み輸出価格は据え置いた様子。カナダ物もオールド強含み、セコグロ保合と変化なし。北米、アラスカのスプルス丸太は益々出材減で高値に歯止めがかからない。(東京：米材問屋)数ヶ月振りに入荷したが、即日完売であった。(東京：米材問屋)</p> <p>10月は仕事が出そうなので仕入れを増やす。(東京：集成材等問屋)</p> <p>在庫は充分過ぎる程あるため各社、仕入れは控えている。(東京：外材問屋)</p> <p>現地価格がまだ高く、他社の国内在庫を仕入れている。(東京：南洋・中国材問屋)産地は天候不順で原木価格は若干強含み、製材品は保合。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>スギ柱・間柱良材は手当しにくい。相場の居所低く生産意欲なし。(東京：国産材問屋)製品の動き悪く、良材の原木も少ないため製品の仕入れには慎重になる。(東京：国産材等問屋)</p> <p>通常在庫品の補充程度。(東京：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>米マツ一般材丸太京浜マーケットでは注文材主体のメーカーに対して問屋が消費に見合った丸太を供給していることから販売・価格ともに今後も大きな変化は無い模様。(東京：米材問屋)極端な品薄にもかかわらず、(上げられず)価格に変化なし。このままでは入荷できなくなる恐れも。(東京：米材問屋)</p> <p>10月は売り上げが伸びそう。(東京：集成材等問屋)</p> <p>例年に比べ仕事のスタートが遅い気がする。10月以降の造作材の動きに期待。(東京：外材問屋)秋需どころか、逆に10月は悪いスタート。(東京：外材問屋)</p> <p>荷動きは良くなってきたが、価格は横ばい。今後プレカット工場の生産が上がり、荷動きが一段と良くなれば価格見直しも。(東海：外材問屋)WWの仕入れ価格上昇により、どこまで販売価格が上がるのか。(東海：外材問屋)</p> <p>相変わらず細かい仕事が多い。都心はリフォーム主体でまとまった量が出ない。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>短期的には公共事業減少の傾向。民間工事(木工事)は安い材料に向かう。広葉樹の使用量は低下。(東京：広葉樹問屋)</p> <p>リフォーム関係の不足材などでまとまった動きなし。価格の安いスギ材が売れやすい。(東京：国産材等問屋)</p> <p>10月に入って動きは悪い。(東京：国産材問屋)まとまった注文がなく、細かい注文ばかり。(東京：国産材問屋)</p> <p>これと言った山(物件)もなく、深い谷もなく何となく低調な毎日です。(東京：仲買・小売)ソコソコ動いているが、大きな仕事が落ちて細かな仕事ばかりなので先が読みづらい。(東京：仲買・小売)極端に落ち込んでいる。(東京：仲買・小売)戸建の活発な動きは無いが、店舗、マンション関係の動きがある。(東京：仲買・小売)</p> <p>例年10月はとても忙しくなるが今年は、いまいち。(東海：仲買・小売)</p> <p>ほとんど変化なし。(大阪：仲買・小売)10月は現場少なくひまになりそう。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>米マツ一般材丸太京浜マーケットでは、供給・消費ともバランスが取れており、問屋の不良在庫も見当たらない。(東京：米材問屋)年内にもう一度入荷するかどうかで、品薄状態は当分続く見込み。(東京：米材問屋)</p> <p>出荷より入荷が多く、在庫は増えている。(東京：外材問屋)</p> <p>10月は在庫を少し増やし、11月からは減らしてゆく予定。(東京：集成材等問屋)</p> <p>大きな増減は見られない。(東京：南洋・中国材問屋)</p>

2. 価格動向	
スギ正角	変化なし。(東海：外材問屋)
ヒノキ正角 土台角	変化なし。(東海：外材問屋)
米ツガ	変化なし。(東海：外材問屋)
米マツ平角	RW-EWとの競合で価格は安値横ばい。(東海：外材問屋)
北洋アカマツタルキ	変化なし。(東海：外材問屋)
WW・RW 集成材	<p>価格は横ばいだが、11月は値上がりするかもしれない。(東京：集成材等問屋)</p> <p>集成平角はまだ弱いようで、ムク材との差がほとんどなくなっている。(東京：外材問屋)</p> <p>当月も底値横ばい。3m×10.5角で1,480円/本。平角46,000円/m³(東海：外材問屋)</p> <p>W.W川上は10月値上げと言っているが、どうか?(東京：仲買・小売)</p>
合板	<p>針葉樹は変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>針葉樹は一部、少し安値が出てきている。後は、需要次第でどうなるか?(東京：仲買・小売)</p> <p>針葉樹はまだ暫く上昇しそうにない。(東京：仲買・小売)</p> <p>変動なし。(大阪：仲買・小売)</p>